

**EDF**The Education for Development Foundation
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาที่ยั่งยืนEDF WAS AWARDED
"NGO OF THE YEAR 2012"

ダルニーフォーラム

第十六号

2014年12月

www.edfthai.org/jp

無事に奨学金をもらって何に使ったのでしょうか？

2014年から支援者の皆様のご寄付により奨学金を受け取る事の出来た子どもたちは、皆大変喜んでます。今回は、4人の奨学生に、奨学金を何に使用するか聞いてみました。また、奨学生たちが、好きな科目や将来の仕事、支援者に伝えたい一言などについても聞きました。



ポンティトラー ポロムタイ
(愛称:オム)

バンサイムン学校
シーサケット県

中学1年生

私は戴いた奨学金から、制服と文房具を買いました。無料で学校から貰った1着の制服では足りなかったからです。ノート、ボールペンも足りないので、新しく買いました。今、

私は中学1年生になりました。私の一番好きな科目はタイ語なので、将来は、今勉強している学校で、タイ語の教師になりたいと思います。支援者の方へ、本当にありがとうございました。奨学金は大切にに使わせて戴きます。



ジューラット ワンハーピム
(愛称:プロ)

バンノンサラットバムルン学校
ナコーンパノム県

中学1年生

私は戴いた奨学金で文房具とテーブルを買いました。このテーブルのお蔭で、自宅で読書のとき集中できるし、背中が痛くなりません。また、ときどき父は私と一緒に本を読んでいます。私は数字が大好きですから、将来は会計の仕事をしたいです。支援者の方に感謝しますと共に、ご健康をお祈りします。

私は数字が大好きですから、将来は会計の仕事をしたいです。支援者の方に感謝しますと共に、ご健康をお祈りします。



アナンタウォン チャンプリアン
(愛称:チャン)

バンコカウェン学校
シーサケット県

中学1年生

私は奨学金を戴きましたが、お金はまだ引き出していません。私の学校は、私を含め、3人の奨学生が居ますので、お金の引き出しは3人が一緒に銀行へ行くことになります。将来

の就職についてはまだわかりませんが、科学に興味があるので、科学に関する仕事が出来ればよいと思います。支援者の方からの素晴らしいチャンスを戴き、本当にありがたいと思っています。



スプリーヤー プロムチョーン
(愛称:プック)

バンノンスウン学校
シーサケット県

中学3年生

私は奨学金で文房具を買いました。残りの分は高校に進学するときの為に使わせて戴きたいと思っています。今、私は中学3年生で、科学が大好きです。科学実験に興味を持ち、

科学を教える教師になりたいと思っています。奨学金支援者の方に心から感謝します。一生懸命勉強し、自分の夢を叶えたいです。

無償教育は全部無償だということは誤解



皆様はすでによくご存じかもしれませんが、タイ政府は2009年から児童生徒の教育を支援するために、15年間の無償教育政策を公示しています。この政策の概要について述べると、15年間の無償教育とは、幼稚園から中学・高校教育、そして職業教育までを指しており、公立及び私立のどちらの学校でも実施しています。公立の学校であれば授業料は100%無料ですが、私立の学校では、授業料の一部を政府が負担することになっています。政府が援助する無償教育の予算は、5つの項目に分かれています。すなわち授業料、教科書代、制服代、学用品・文房具代、コンピューターや社会見学などの特別な授業の経費です。そのうち制服と学用品・文房具は生徒側が購入するので、保護者は、その費用を現金で受け取り、学校に領収証を見せることになっています。

EDFの奨学金を何のために一番多く使うかという調査を、中学校の奨学生を対象として行なったところ、1頁で紹介したとおり、学用品と制服という回答が一番多いという結果が出ました。支援者の皆様は、それなら政府からの援助金は、充分ではないということだろうかとお考えになるのではないのでしょうか。そこで、皆様に右手の表のデータを見ていただきたいと思います。

品目	政府が中学生へ1年間に支給できる金額(パーツ)	各品目が実際に1年間にかかる金額(パーツ)
学用品・文房具(練習用ノート、鉛筆、ボールペン、消しゴム、定規、図形に使う文房具、コンピューター用品(例:CD)A4用紙、美術の科目で使う色彩用具)	210	633
制服(上着、ズボン、スカート、ベルト、靴、靴下、ボーイスカート・ガールスカートの制服、体育着)	450	2,059

上記の表の必要な物品の実際にかかる金額は、EDFが市価を調査したもので、ダルニー通信73号(2013年)に掲載してあります。児童生徒の保護者は、この政策について、政府が教育の費用をすべて支給し、保護者は学費については何ら負担する必要がないものであると理解しました。しかし、それは誤解でした。なぜなら、政府の予算自体が全品目を援助できるだけの充分な金額ではないからです。

以上のことからEDFの事業を通じて、教育のために寄付していただいたお金は、貧困家庭の児童生徒にとって、貴重なものであることがわかりただけだと思います。政府からの援助があったとしても、それは教育費用の一部で、補習のための学用品や教室外で行う学習のためのテキスト、あるいは制服類を全部購入するためには、充分な金額ではないからです。

15年間の無償教育政策に関するデータの出典：
<http://www.krucenter.net/UserFiles/File/sob/s4.pdf> (タイ語)

ニュース・イベント

タイ王国和協会に参加



2014年12月4日、「タイ王国和僑会」の「異業種交流会」にご招戴き参加しました。タイで活躍する日本人事業家150人程の人達が集まり、交流を深める中、EDFの紹介の場を戴き、昨年の「和僑会世界大会」でのご寄付への御礼と、EDFの紹介を行いました。

JALが3年目の奨学金ご寄付

2014年11月29日、日本航空株式会社(Japan Airlines Co., Ltd.) 西南アジア地区代表バンコク支社長の森本 斉様より、「JAL Mileage Bank Charity Golf」コンペにより集められたご寄付をいただきました。この寄付金は、ダルニー奨学金制度に対し、一昨年から3年目の支援金となります。



Siam Yamato Steel Co.,Ltd.20周年記念のご寄付

2014年11月14日、Siam Yamato Steel Co.,Ltd社長のMr.Hiroyuki Inoueより、同社の20周年を記念して、1,000,000パーツをご寄付いただきました。この寄付金はタイ深南部3県で「Under the Same Sky」という深南部の爆弾テロにより両親を亡くした子どもへのEDFの奨学金事業プログラムへの支援として役立てられます。



Alcatel-Lucent (Thailand)は、学生へのICT、E-コマースの「タイ・サイバー・キッズ」プロジェクトを開催



2014年11月12-22日、Alcatel-Lucent (Thailand) Co., LtdとEDFは、アユタヤ県にあるワットラムムンク校とジョラケライ校の中学1-3年生を対象に、今回2回目となるインターネットの使い方とインターネットによる通信販売の基礎知識を教える「タイ・サイバー・キッズ」プロジェクトを行いました。

The Education for Development Foundation (EDF)

50, Kasetsart University Alumni Bldg., Phaholyothin Rd., Ladyao Jatujak, Bangkok 10900
 Tel.0-2579-9209-11 (タイ語) 0-2942-8538 (日本語) Fax.0-2940-5266
 Email: public@edfthai.org URL: www.edfthai.org/jp

日本でのお問い合わせ: 一般財団法人 民際センター
 〒162-0081 新宿区山吹町337 江戸川橋東誠ビル5F
 TEL: 03-6457-5782 FAX: 03-6457-5783
 Email: info@minsai.org URL: www.minsai.org